



ほけんだより

10月

文責：福田

子どもの目は日々発達していて、両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成するといわれています。その後視力が低下するのは姿勢や体の動かし方に関係しているそうです。遠くを見たり近くを見たりすることでお子様の視力を育てていきましょう

《10月10日は目の愛護デー》

目の異常は気づきにくいものです。お子さんにこんな様子はみられますか？
眼科受診の目安

- 目ヤニがたくさん出ている
- 普段から涙がたくさん出る
- いつもまぶしそうにしている
- 動くものを目で追わない
- 目を細めることが多い
- 瞬きをしない
- テレビの画面に近づいて見る
- 頭を傾けたり、横目で見ると

上記の症状がみられる場合は早めの受診を心がけましょう。
園でも気になる症状がみられた場合にはご報告いたします。



内科検診10月14日（火）

園では年2回の内科検診（5月・10月）歯科検診（5月）を行っています。今月は内科検診を予定しています。内科検診ではバランスのよい発育をしているかどうか、また、四肢の状態・心臓・目・耳・のど・皮膚の状態、栄養状態や、筋肉や骨格なども診てくださいます。
当日欠席の場合は、後日各御家庭で内科医までお連れいただくこととなりますので極力お休みをされないよう、よろしくお願いします。



衣替え

衣替えの季節となりました。日中はまだまだ汗をかくほど暑いのですが夕方には冷え込んでくる時期です。登園の際の衣類に迷われることだと思いますが、汗をかくこともありますので下着の替えや、調整のしやすい、薄手の物もお持ちください。



インフルエンザワクチン接種

インフルエンザは例年、10月から12月に流行のピークを迎えます。ワクチンは接種してからすぐに効果があるわけではなく効果が出るまでに2週間ほどかかります。持続はおよそ5か月ということ考えると接種は10月から12月に行うのがよさそうです。もしインフルエンザに感染しても軽くすむので、重症化を防ぐためにもぜひ接種をお勧めします。